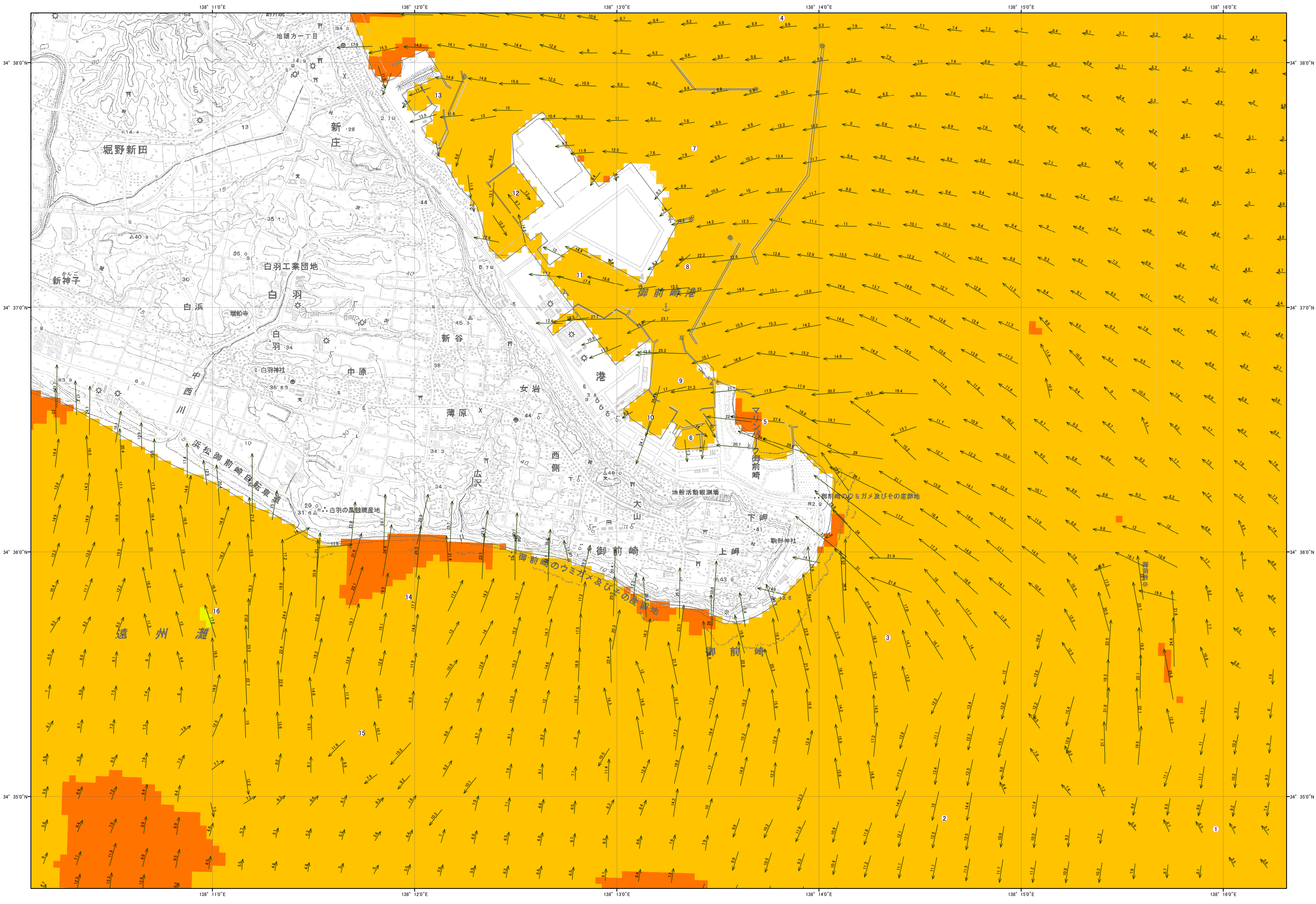


御前崎港 津波防災情報図 (進入図)

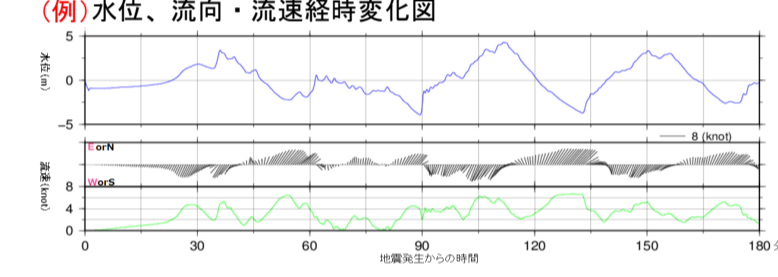
計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 216cm(191cm ~ 263cm)
 Zo：1.00m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。



凡例

- 最大水位上昇
- 10~最大16.0m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

経時変化図出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

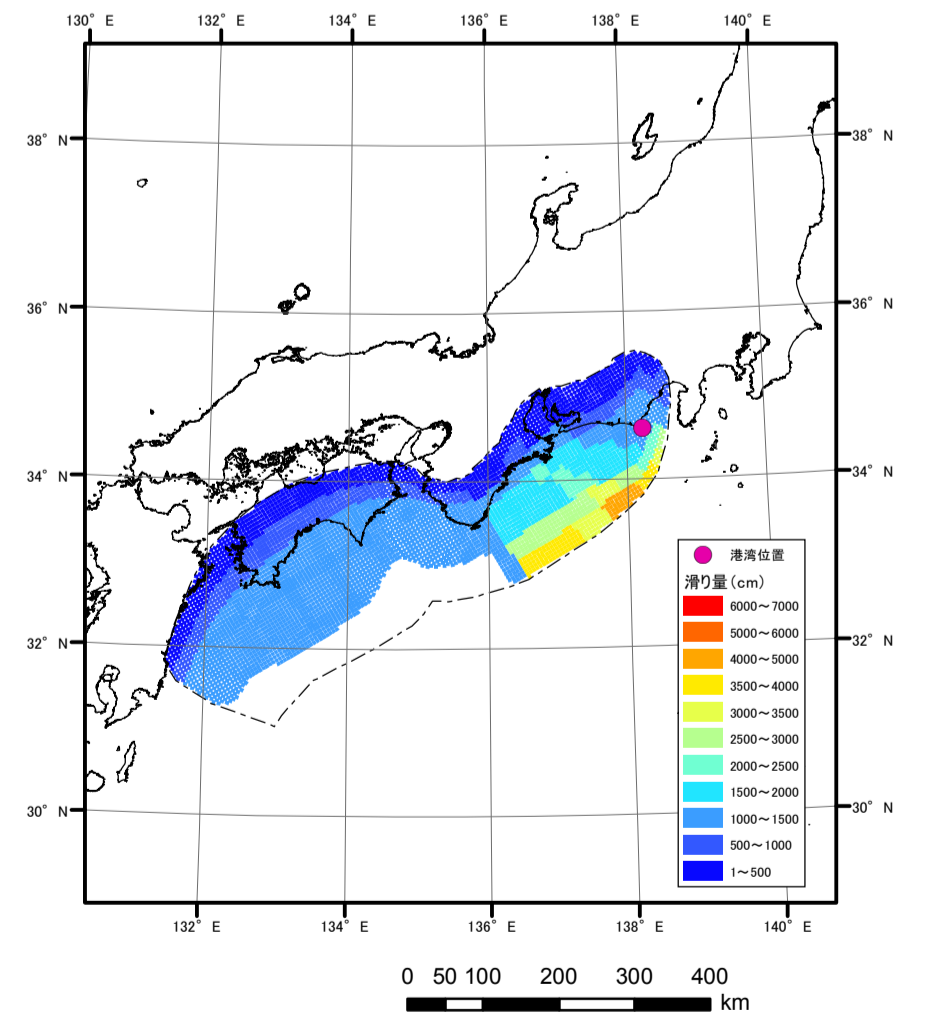


進入時最大流 (knot)

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 防護施設は、震度6以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断面モデル



ケース①「駿河湾～紀伊半島沖に『大すべり域+超大すべり』」

断面面積 S (km ²)	140.00
地震モーメント Mo (N·m)	6.1 X 10 ²⁷
平均すべり量 D (m)	10.3
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ（標高）・10mメッシュ（標高）、及び数値地図25000（地図画像）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日）

